

■編集発行

岐阜県立東濃実業高等学校
PTA文化広報委員会

■責任者

PTA会長 今井 省吾

東 実



学習成果発表会

今年度はコロナ禍で、例年通りの学習成果発表会が開催できず、各類型の活動を各HR教室で鑑賞しました。

ソフトウェア活用



起業創造



衣文化



福祉看護



「あの頃の『未来』に立つ今、 これからの『未来』に向けて」 校長 片岡 潤子

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。高校生活への夢や希望とともに初めて校門をくぐった日から3年の月日が流れました。東実での3年間は皆さんにとってどんな日々でしたか。入学前のあの頃、自分自身が思い描いていた「未来」に今、立っているのでしょうか。特に最後の1年はコロナ禍において、思い通りにいかなかったことが多々あると思います。充実感や達成感とともに、ちょっぴりの後悔があるかもしれません。そして今、東実を巣立っていく皆さんは、どんな「未来」を想像していますか。まだ目先のことしか考えられないという人もいるでしょう。でも入学前の自分が想像していた姿に、今の自分が当てはまっていなくても、今の自分しか未来

の自分を作ることはできません。東実での3年間は、頑張った分を裏切らないだけの力を皆さんにもたらしめているはず。胸を張って、一日一日を精一杯生きてください。それが素晴らしい「未来」への近道です。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。これまでPTA活動や部活動振興に多大なるご支援とご協力をいただきありがとうございました。本校での学びがお客様の未来を創る礎となり、各分野で大きく羽ばたかれることを確信しつつ、心から感謝とお祝いを申し上げます。



「校訓、勤労・責任・ 進取・創意を胸に」

PTA会長 今井 省吾



99期生の皆さん、卒業おめでとうござ
います。保護者の皆様、立派に成長され
ましたお子様のご卒業、誠におめでとう
ございます。3年前の入学式が先日のこ
とに思われます。高校生活の3年間は、思春期という多感で自己同
一性に目覚める大切な時期です。その過程で子どもたちが健やかに
成長する姿を見て取れたのも、校長先生を始め、教職員皆様の子
どもたちに全身全霊を傾けたご指導の賜物と存じます。誠に感謝の念
に堪えません。

卒業は「始まり」でもあります。進学、就職と自身で選択した道
に進みますが、進む先には、勉学・仕事・人間関係等、幾多の始
まりがあり、試練となるでしょう。その時は、校章あすさの四葉が意
味する校訓、勤労・責任・進取・創意を思い浮かべてください。自
ら新しい物事を取り入れ、新しい見解で工夫し見出し、自己の責

任を持ち、心身を労して物事に励む、ということです。この覚悟で
試練に臨めば、何事も成し遂げられるはず。事実、今年創立百
周年を迎えることが証明していますし、地域の皆様方に信頼されて
います「東実ブランド」の伝統の原点だと思えます。また、さわや
かな挨拶・端正な身だしなみは、AI時代が到来しても、人として
最も重要なことです。この伝統を胸に刻み、更なる成長を遂げてく
ださい。僥越ですが私の大切な言葉を送ります。失敗、不運が重な
る時は「蝶は花にハ工は糞に」です。寄って来るハ工（失敗、不運）
が悪いのではなく、寄って来てしまうような自身に原因があるの
で、先ず自身を正し花に成る努力を重ねることで自然と周りも変化
する、と自問自答します。辛いことが続く時は「春の来ない冬はな
い」です。今は大変辛い時だけど、解決する時は必ず訪れるので、
その時に力を発揮する為に自身を磨き向上しておく忍耐の時、と自
問自答します。現在のコロナ禍で何度もそう思いました。卒業生の
皆さんは数百年に1度の辛く厳しいコロナ禍の1年間を乗り越えて
卒業されます。この経験を通して、何事にも動じない自信が芽生え
たに違いありません。将来卒業生の皆さんが様々な分野でご活躍さ
れますことをお祈り申し上げます。

最後にになりますが、本日まで子どもたちを温かく見守り、導いて
くださった皆様方に、心より感謝とお礼を申し上げたいと思います。

令和2年度の進路状況について

今年度の求人数はコロナ禍の影響もあり、昨年度の約1,200件から大幅に減少し、約900件でした。その内、通勤可能な企業からの求人は約390件で、こちらも昨年度の約500件から大幅に減少しました。小売業、飲食、ホテルなどのサービス業の求人は激減しました。例年複数人の求人がある企業の求人が1人になったり、受験直前に求人が取り消しになるなど、本年度の就職は大変厳しいものとなりました。

自宅学習期間を経て6月から登校し、準備を進め、1か月遅れの10月の就職試験では、本校生徒の1次内定率は84.6%と、昨年度の97.5%を大きく下回りました。7月に求人を受け付け、それ以降就職試験の10月までに企業の状況が悪化し採用基準が厳しくなったことが一要因ではないかと考えられます。残念ながら不採用であった生徒は、2次求人より就職試験に臨み、12月中には全員内定をいただきました。諦めず、前向きに就職活動に取り組んだ成果であると思います。

進学では、商業科は経済・経営系および情報系の関連分野を中心に、生活文化科は昨年同様に医療看護系や保育系などの生活関連の実学系統へ進む生徒が多い状況です。進学先は、岐阜大・富山大・名古屋市立大・愛知大・中京大・名城大・愛知学院大等の四年制大学、県立衛生、多治見高等看護の両県立の医療系専門学校にも合格しました。小論文や面接のほか、英語や国語などの学力が求められる入試が多くなっていますので早くからの対策が必要になります。また、出願の際の書類等には、活動報告書など自らの具体的な活動を記入することが多いです。専門科での体験授業、地域での活動や校内外でのボランティア活動、取得した資格などの記録を、しっかり残しておくことが重要になります。

社会人としての資質を身に付けるために2年生が毎年2月に実施していたインターンシップは、今年度はコロナ禍のため中止としました。来年度も厳しいと予想される求人状況、変化が続く進学入学試験にも対応し、本校生徒が諦めず前向きに取り組み、希望の進路を実現することを願い、支援していきたいと思えます。

① 全体の状況

	男子	女子	合計	割合(%)
進学	48	119	167	73.6
就職	19	38	57	25.1
未定	1	2	3	1.3
合計	68	159	227	100

② 進学・校種別

	男子	女子	合計
四年制大学	24	36	60
短期大学	1	16	17
専門学校	23	67	90
合計	48	119	167

③ 就職

	男子	女子	合計
一般	18	32	50
公務員	1	3	4
縁故他	0	3	3
合計	19	38	57

令和3年1月5日現在

あすさ祭

デコマスク コンテスト

優秀グループ紹介
(10月6日実施)



学習成果発表会（2月12日）に向けて



▲ 事務管理（社会人メイクの研究）



▲ 起業創造（コラボ商品のドライブスルー販売）



▲ 簿記会計（アンケートの依頼）



▲ ソフトウェア活用（動画の作成）



▲ プログラミング（作品の制作）



▲ システム開発（外部講師による授業）



▲ 衣文化（地域でのファッションショー）



▲ 食文化（みそマロランタンの試作）



▲ 福祉看護（食事介助）



▲ 保育（オープニング用コマ撮り作成）

社会見学

今年度はコロナ禍のため、社会見学が春から秋以降に延期され、11月11日に1年生が明治村、2年生が高山に、12月18日に3年生がナガシマスパーランドに出かけました。

1年
明治村



2年
高山



3年
ナガシマスパーランド



卒業生から 「ありがとう」の言葉



「感謝」

3年1組 西田 将

私に高校まで野球を続けさせてくれて本当にありがとうございました。直接両親に「ありがとう」を伝える機会があまりなかったのですが、とても感謝しています。小学校から始めた野球を今まで何

不自由なく続けてこられたのは、間違いなく両親のおかげです。
今まで野球をしてきて私は技術が上がるのはもちろんですが、それ以上に1人の人として成長することができました。厳しくも愛のある指導者の下で、一緒になって笑い、一緒になって苦しんできた仲間たちと野球をすることで恩師と出会い、良い仲間とも巡り会うことができました。こんな経験をすることのできる環境を私に与えてくれた両親には感謝の気持ちしかありません。自分の時間を削って朝早く起きてお弁当を作って、夜遅くまで汚くなったユニフォームを洗ってくれた母。試合終わりに、自分が成長できるような話をしてくれる父。今の私がいるのは両親のおかげです。これからは恩返しをしていきます。



「18年間のありがとう」

3年2組 山田 朱莉

私は、18年間そばで支えてくれた家族のみんなにありがとうと伝えたいです。

朝早くから夜遅くまで一生懸命働いてくれる父。毎日お弁当を作ってくれたり、家事をしてくれる母。たくさん笑わせてくれたり、たくさん相談にのってくれる姉。私は家族のみんなのおかげで、今まで何不自由なく楽しく過ごすことができました。

しかし私は、少し後悔していることがあります。それは、家族のみんなに対して「ありがとう」とあまり言えていないことです。照れくさくて言えなかったけど、とても大切な言葉だと思えます。なのでこれからは、家族のみんながいつも私の味方でいてくれること、送迎をしてくれたり、ご飯を作ってくれることを当たり前だと思わずに、常に感謝の気持ちを伝えていきたいです。

そして将来、看護師になるという夢を叶えて、絶対に恩返しします。本当に18年間ありがとう！家族のみんなが大好きです。



「母の存在」

3年3組 勝野 琉聖

「ありがとう」の言葉を家族全員に伝えたい。中でも母の存在には感謝しきれません。

18年間支えてくれてありがとう。特に小学校4年生から始めた野球を高校3年生まで続けさせてくれたこと。毎日のお弁当、朝早い時の送迎。苦労ばかりかけました。弟と妹の世話もしなければいけない中、私自身のことも気にかけてくれ、毎日の感謝が尽きませんでした。

4月から、大学生になります。さらに4年間はまた苦労をかけるとは思いますが、早く自立して少しでも安心、楽にさせられるように生活していきます。

今は、苦労をかけてばかりですが、大人になり、社会へと出たら、支えていける存在になります。

母が親で良かった。母の子で良かった。普段は口にして言えないけど、心から思います。

18年間ありがとう。



「感謝」

3年4組 林 優明

私は小学校2年生から今に至るまで野球を続けてきました。好きで始めたわけではなかったけれど、歳を重ねるほどに好きになっていきました。それと同時に家族の協力もなければ野球を続けられなかったことに気づきました。

母は毎朝早く起きて弁当を作ってくれたり、父は送迎をしてくれたり、祖母も洗濯の手伝いや応援にも来てくれました。何気なく野球ができていたのは家族のおかげだったんだと思い、感謝しきれません。

これから私は就職します。今まで苦労や迷惑をかけた分を自分の力で恩返しすることができればと思います。今までありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。



「支えてくれた家族に『ありがとう』」

3年5組 藤井 夏美

私は吹奏楽部に所属しています。遠方に住んでいるため、家を出るのが6時頃、朝練・授業・放課後の部活が終わって家に着くと9時になっているので1日の殆どを学校で過ごす3年間でした。

家にいる時間が短かったですが、家族と一緒に過ごした思い出が沢山あります。母は毎朝欠かさず朝食やお弁当の準備をして私を送り出してくれました。コンクールがあるとどんなに遠くても応援に駆けつけてくれます。父は最寄り駅まで車で送迎したり、帰りにお腹がすいているだろうとパンを買ってくれたりしました。家族の中で帰宅するのが早かった弟は、毎日お風呂掃除をしてくれました。3年間の学校生活が当たり前のように送れたのは、毎日家事や送迎等を文句一つ言わずにやってくれた家族の支えがあったからです。ありがとう。

私は春から家を出て生活します。一緒にいて当たり前だった家族と離れて生活するのはとても寂しいけれど、夢を叶え、次は私が家族を支えられるよう頑張ります。



「感謝」

3年6組 平田 奈佑

私はこの3年間たくさん迷惑や心配をかけたきました。高校からホッケーを始めて、最初は不安でいっぱいでした。それでもずっとそばで応援してくれていたのは、両親でした。

2年生の夏から、キャプテンとして頑張ってきましたが、中々上手くいかない日々が続く、悩むことも多くありました。そんな時、話を聞いてくれ、励ましてくれたのは、母の存在でした。毎朝弁当を作ってくれて、試合の応援にもたくさん来てくれて感謝しています。そして、毎週スタジアムまで送迎してくれた父がいたから続けられたことを、改めて知ることができました。

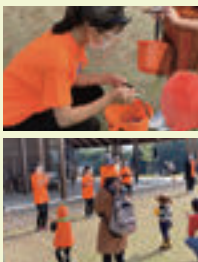
私は短期大学に進み、保育士を目指してこれから頑張っていきます。思い通りにいかないこと、悩むこと、これから先たくさんあると思います。でも笑顔を忘れず、母のように人を支えられる人、父のように優しくできるような人になり、これからも成長し続けていきます。これからもよろしくね。

商業科 (ビジネス管理科) の取り組み

<地域とともに> 飛び出せ地域へ東実プロジェクト ～地域共創を目指して～

イベント企画

「今年のハロウィンはちょっと特別♥」をリバーポートパーク美濃加茂で開催しました。コロナ禍でも、「子どもたちを笑顔にしたい」という目的のもと、生徒たちが企画・運営したイベントです。トイ・ファームの矢島社長、リバーポートパークや美濃加茂市役所の方たちからアドバイスを受けながら、感染対策や運営方法を考え、準備を進めました。生徒自らがお願いに回り地元企業から協賛もいただきました。子どもたちへのお土産の中には先輩方が開発した桃実ゼリーやtovoクッキーを入れました。



クロビット」という簡単なコンピュータを使用し、プログラミング体験教室の企画を行いました。ジャンケンプログラムやラジコンカーが作成できる体験教室を考えています。



コラボ商品

いつもお世話になっている、パティスリーランド、馬力家、石狩とは、休校明けからの短い期間でもお菓子やお弁当の開発をしていただきました。お店に生徒たちがたくさん行き、密になることを避けるため、校内での予約販売を行いました。手袋や消毒など、コロナ対策をして、各クラスへ配付しました。



情報冊子

卒業生がどのような職業選択を行い、高校時代の学習がどのように生かされているかを取材し、「TJ WORKER」という情報冊子を作成しました。感染防止の観点から対面取材を避け、Google フォームを使用して取材をしました。



商品開発・販売企画・販売実習

休校中に学校のオンラインシステムなどで商品案や販売方法について意見交換をして、鶴舞屋の高森社長のご指導を受け開発した商品が「鮎一ジョ」と「鶏一ジョ」です。例年は、校外で販売実習を行いますが、感染拡大防止のため、人との接触が少ない校内ドライブスルーを企画しました。また、車を利用されない方のために、ウォークスルーも考案しました。感染対策も考え、渋滞などで地域に迷惑をかけないように注文方法も工夫しました。宣伝方法として、近隣の小中学校へチラシ配布も行いました。ドライブスルーの企画を行ったのが、ビジネス管理科です。注文システムの開発をビジネス情報科に依頼し、高齢者にも見やすい看板づくりと販売用のレジ袋づくりを生活文化科に依頼しました。3つの科がある東濃実業高校の強みを生かし、東濃実業高校だからこそできる商品開発、地域貢献ができたと思います。



地域PR活動

観光マップや町のPR動画、名鉄広見線のスタンプラリーを制作しました。タイムカプセルの相澤社長に講義をしていただき、「ミーモくん」や中山道をモチーフにしたiPhoneアプリの開発も行いました。



小学生向けプログラミング体験教室

小学校でのプログラミング必修化に伴い、「スクラッチ」というソフトを使用しプログラミング教材を作成しました。例えば1年生では曜日を自分で並べ替える教材、2年生では九九が確認できる教材を作成しました。本年度は「マイ

生活文化科の取り組み

<地域連携・地域交流> ～各類型の研究テーマに沿った様々な活動をしました～

衣文化類型 キャンバス

保護者や地域の方、在校生に活動の様子を伝えるために校内外ファッションショーを行いました。また、レジ袋有料化に伴い、手軽に使えるエコバッグの形や素材を研究したり、マスクを製作したりしました。



福祉看護類型 レインボー

運動がなかなかできない高齢の方へ向けた座ってできる運動として、「夢いろ脚体操」を考案しました。その他防災、認知症予防の研究をしました。



食文化類型 e y e

加茂農林高校の「栗」と「みたけのええもん」に認定されている「みたけ味噌」を使って焼き菓子の開発・製造・販売に取り組みました。その他パン、デコレーション、和菓子の研究を行いました。



保育類型 ふしぎなおてて

地域の民話をウレタン人形で演じ、棒遣い人形が躍る人形劇などを収録したDVDを児童福祉施設に配布し、地元の魅力や童謡の楽しさを広めました。その他子どもと遊びや歌、地域の民話、子育て支援活動の研究をしました。



コンテストの成果

【第8回伝統文化裁縫コンテスト】

<衣服作品部門>

岐阜女子大学賞 3年 郡山 日菜
岐阜県繊維協会会長賞 3年 加藤 紗希

<アイデア作品部門>

岐阜女子大学賞 3年 中江 涼香

【岐阜女子大学第11回手づくり絵本コンクール】

優秀賞 3年 廣中 咲紀
岐阜女子大学賞 3年 東 優音

【第17回地産地消運動令和2年度豚肉レシピコンクール】

優秀賞 3年 坪内 千宙

【第21回鶏肉・鶏卵コンクール】

優秀賞 2年 青木 愛
優秀賞 2年 今井未唯奈

【第12回高校生「朝ごはんコンテスト」】

入賞 2年 西田 有希

【第26回全国高校生クリエイティブコンテスト】

佳作 3年 野澤 優乃

輝かしい部活動の記録

令和2年10月～3年1月

部活動名	大会名	男・女	団体 個人	成績
剣道部	地区新人大会	女	団体	3位
	県新人大会	男	団体	出場
		女	団体	ベスト16
弓道部	地区予選大会	男	個人	2-1 伊藤未来翔（県大会出場）
		女	個人	1-6 渡邊悠花（県大会出場）
卓球部	県高校新人大会地区シード決定戦	女	学校対抗	優勝
	県高校生選手権大会	女	シングルス	ベスト16 2-2 前田美海
	県高校新人大会	女	学校対抗	ベスト16
	全国高校選抜大会県予選	女	シングルス	3位 2-1 山川桃佳 ベスト8 2-2 前田美海
陸上競技部	県高校新人	女	100mH	2位 2-1 稲熊汐里
			400mH	2位 2-1 稲熊汐里
	地区総体	女	砲丸投	優勝 2-1 佐藤みや乃
			100mH	優勝 2-1 稲熊汐里
バドミントン部	新人大会地区予選	女	団体	準優勝（県大会出場）
			シングルス	3位 2-1 伊藤萌香（県大会出場）
ソフトボール部	新人大会地区予選	女	団体	優勝
	県新人大会	女	団体	準優勝
	東海新人大会	女	団体	出場
ホッケー部	全国選抜大会東海予選	女	団体	第2代表として本大会出場権獲得
	全国選抜大会	女	団体	出場
バスケットボール部	選手権大会兼県総体	男	団体	2回戦敗退
		女	団体	ベスト8
	地区新人戦	男	団体	3位（県大会出場）
		女	団体	2位（県大会出場）
テニス部女子	東海毎日ジュニア県予選	女	ダブルス	ベスト8 2-2 岡野紅香乃・2-6 岩井陽芽
	中濃地区1年生大会	女	シングルス	3位 1-5 渡邊夢菜
バレーボール部	全日本選手権県大会	女	団体	ベスト16
ボート部	県高校新人大会	男	ダブルスカル	3位 2-1 竹腰公陽・1-3 的場直喜
吹奏楽部	県アンサンブルコンテスト美濃・可茂地区大会		フルート三重奏	金賞・地区代表 2-3 澤村美穂 2-5 平岡奈央 2-5 丸山明莉
			打楽器五重奏	金賞・地区代表 2-1 山口佳佑 2-1 古畑 萌 1-4 梶田一花 1-5 山口綾香 1-6 大島苗生
写真部	全国写真選手権大会		団体	東海ブロック大会進出
	学生コンテスト2020		個人	メーカー賞 3-3 高橋良宜
	高校生観光写真コンテスト		個人	最優秀賞 2-5 岡田和海 優秀賞 3-4 尾崎鈴音
	デジタルアーカイブコンテスト		団体	優秀賞
	多治見市美術展写真の部		個人	桔梗賞 3-4 渡辺真由
	県総合文化祭写真展		個人	最優秀賞 1-1 日下部花
	各務原市高校生美術展写真の部		個人	30周年記念賞 2-5 村瀬紗菜
	中日写真展高校の部		個人	奨励賞 1-5 玉野莉子
箏曲部	第38回岐阜県高等学校ギター・マンドリン、邦楽合奏コンクール		団体	最優秀賞